



# 2007年8月期(第44期) 決算説明会

株式会社 サダマツ **JASDAQ**  
〒153-0061  
東京都目黒区中目黒2丁目6番20号  
京急建設イマビル 2階  
TEL:03-5768-9957 FAX:03-5768-9958  
<http://www.sadamatsu.com>

本資料は2007年8月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

Copyright (C) 2007 sadamatsu Co.,Ltd All Rights Reserved.

<http://www.sadamatsu.com>

## 目次

- I. 決算概要
- II. 第44期施策の結果と課題
- III. 外部環境分析の視点
- IV. 子会社の状況
- V. 中長期の目標
- VI. 第45期施策
- VII. 第45期予測

## I. 決算概要

### 1. 2007年8月期 業績予想数値の修正(単体)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (2007年4月20日)	7,699	98	△ 184
今回修正予想(B) (2007年10月15日)	7,951	△ 59	△ 442
増減額(B-A)	252	△ 157	△ 258
増減率(%)	3.3	-	-
(ご参考)前期実績(2006年8月期)	6,625	196	110

当期の売上高は、既存店舗の活性化及び在庫処分を目的としたバーゲン催事を行ったため、予想を上回ったものの、利益率の低い商品が中心であったため、粗利率が大幅に低下し、それに伴う販管費が増加したことにより、経常損失が59百万円となりました。  
また、上記経常損失の要因に加え、特別損益を計上することにより、当期純損失は442百万円となりました。

## I. 決算概要

### 2. 2007年8月期 業績予想数値の修正(連結)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (2007年4月20日)	7,973	45	△ 244
今回修正予想(B) (2007年10月15日)	8,020	△ 210	△ 542
増減額(B-A)	47	△ 255	△ 298
増減率(%)	0.6	-	-
(ご参考)前期実績(2006年8月期)	7,619	101	△ 38

当期の売上高はほぼ予想どおりとなりましたが、経常利益及び当期純利益につきましては、個別の要因に加え特別損益を計上し、また、グループ全体として粗利率の低下が見られました。連結子会社である株式会社SPAパートナーズ及びD&Q JEWELLERY CO., Ltd において営業赤字が発生しました。

## I. 決算概要

### 3. 経営成績(単体)

(百万円、%)

	第43期 実績 (2006年8月期)	売上高 構成比	第44期 実績 (2007年8月期)	売上高 構成比	前年同期比
売上高	6,625	100.0	7,951	100.0	120.0
売上総利益	3,793	57.3	4,588	57.7	120.9
販管費	3,565	53.8	4,607	57.9	129.2
営業利益 又は営業損失(△)	227	3.4	△ 19	-	--
経常利益 又は経常損失(△)	196	3.0	△ 60	-	--
当期純損益 又は当期純損失(△)	110	1.7	△ 442	-	--
EPS(円)	9.75	-	△ 38.91	-	--
期中平均株数(株)	11,341,252	-	11,369,000	-	--

※旧・株式会社ヴィエールが第43期9月～12月までは子会社であったため、上記実績には含まれておりません。

## I. 決算概要

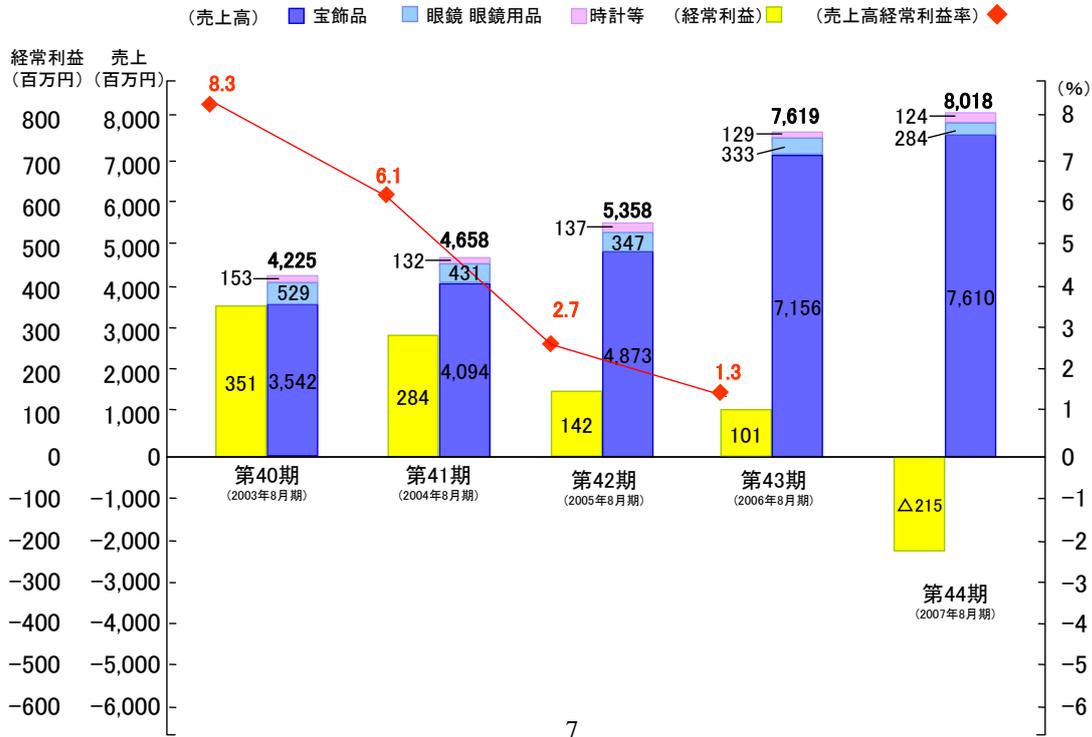
### 4. 経営成績(連結)

(百万円、%)

	第43期 実績 (2006年8月期)	売上高 構成比	第44期 実績 (2007年8月期)	売上高 構成比	前年同期比
売上高	7,619	100.0	8,018	100.0	105.2
売上総利益	4,550	59.7	4,714	58.7	103.6
販管費	4,414	57.9	4,880	60.8	110.5
営業利益 又は営業損失(△)	136	1.8	△ 165	--	--
経常利益 又は経常損失(△)	101	1.3	△ 215	--	--
当期純損失	△ 38	△ 0.5	△ 546	--	--
EPS(円)	△ 3.38	--	△ 48.04	--	--
期中平均株数(株)	11,341,252	--	11,369,000	--	--

# I. 決算概要

## 5. 業績の推移(連結)



7

# I. 決算概要

## 6. 特別利益・特別損失のうち主要なもの

### 特別利益

理由	金額
役員退職慰労引当金戻入益	123百万円

### 特別損失

理由	金額	
店舗閉鎖損失	23百万円	(連結・個別)
－固定資産除去損	3百万円	
－現状回復費	8百万円	
－契約違約金	12百万円	
たな卸資産 減耗評価損	176百万円	(連結・個別)
本社移転費用	20百万円	(連結・個別)
減損損失	90百万円	(連結・個別)
－店舗資産	63百万円	
－のれん	26百万円 (連結)	
子会社株式評価損	36百万円	(個別)
－株式会社SPA/パートナーズ	19百万円	
－有限会社ウイエル インターナショナル	16百万円	
貸倒引当金	46百万円	(個別)
－株式会社SPA/パートナーズ		

※(連結)その他、営業費用としてののれん償却額が35百万円計上されております。

## I. 決算概要

### 7. 特別損失の主な要因①

#### 棚卸資産の減耗評価損

◇保守的観点、および早期に当社ベトナム工場で材料として再生するため、旧株式会社ヴィエールの素材価値が低い商品在庫価値の見直しを行い商品評価損を計上

#### 本社移転費用

◇本社機能を東京都目黒区に一本化するために要した、旧・福岡本社ビル及び旧・東京支社ビルの解約違約金、原状回復費、移転費用等

#### 子会社株式評価損

◇株式会社SPAパートナーズ:業績不振による強制評価減  
◇有限会社ヴィエールインターナショナル:純資産消失

#### 子会社貸倒引当金

◇株式会社SPAパートナーズの業績不振による債務超過分の引当

9

## I. 決算概要

### 7. 特別損失の主な要因②

#### 店舗閉鎖損失

第44期の施策の一つであった業績不振店のスクラップアンドビルドを実施したことによる、固定資産除去損、現状回復費、契約違約金を店舗閉鎖損失として計上いたしました。特にスクラップに関しましては、郊外立地ヴィエール店舗を中心に行い、同業態のスクラップがほぼ完了いたしました。引き続き業績不振店に関しましてはスクラップを進めてまいります。

#### 業績不振店舗の減損損失

地方中小商圏における業績不振店舗を中心に、店舗什器・リース資産を減損損失として計上いたしました。第44期中にスクラップ候補となりましたが、退店交渉が長引いたため第45期において実施を予定しております。

# I. 決算概要

## 8. 業態別店舗数推移①

	第43期末店舗数 (2006年8月期)	第44期(2007年8月期) 店舗数推移			
		出店	退店	転換	期末
フェスタリア ビジュソフィア	1	4	0	0	5
ドゥミエール ビジュソフィア	0	8	0	4	12
ビジュソフィア(※1)	40	3	8	-2	33
オプトジェム	5	0	0	0	5
メガネブティック	3	0	0	0	3
ヴィエール	25	1	6	-1	19
ヴェレッタオッターヴァ	4	0	0	0	4
ラミアドルチェ	2	0	1	-1	0
国内計	80	16	15	0	81
ヴィエールインターナショナル(中華民国)	7	1	0	0	8
海外計	7	1	0	0	8
合計	87	17	15	0	89

(※1)「ビジュソフィア店」欄:「ビジュソフィア クラッセ店」、「ビジュソフィア ファミリー店」を含む。

# I. 決算概要

## 8. 業態別店舗数推移②

### 第44期 新規出店ブランド別一覧

	festaria <small>bijou SOPHIA</small>	Douxmiere <small>bijou SOPHIA</small>	bijou SOPHIA	vielle
上半期	2006/09/07 有楽町西武店 2006/10/13 福岡三越店	2006/09/14 吉祥寺東急店 2006/09/15 新潟三越店 2006/11/18 三越武蔵村山店 2007/02/16 東急たまプラーザ店 2007/02/22 東急東横店	2006/10/07 高崎ビブレ店 2006/11/18 イオン神戸北店 2006/11/21 イオン八幡東店	2006/09/22 なんばマルイ店
下半期	2007/03/03 松坂屋名古屋本店 2007/03/13 日本橋三越店	2007/03/09 流山おおたかの森店 2007/03/13 ららぽーと横浜店 2007/03/15 静岡パルコ店		
合計	4店舗	8店舗	3店舗	1店舗

# I. 決算概要

## 9. 業態別売上高実績

単位:百万円、%

	第43期 (2006年8月期)		第44期 (2007年8月期)		前年 同期比	
		構成比		構成比		
売上高	ビジュソフィア店(※1)	4,583	60.1	4,218	54.9	92.0
	フェスタリア ビジュソフィア店	153	2.0	353	4.6	230.7
	ドゥミエール ビジュソフィア店	-	-	630	8.2	-
	ヴィエール店	1,691	22.2	1,327	17.3	78.5
	ヴェレッタオッターヴァ店	122	1.6	157	2.0	128.7
	オプトジェム店(※2)+メガネ店	861	11.3	771	10.0	89.5
	ヴィエールインターナショナル	207	2.7	220	2.9	106.8
	合計	7,619	100.0	7,680	100.0	100.8

(※1)「ビジュソフィア店」欄:「ビジュソフィア クラッセ店」、「ビジュソフィア ファミリー店」、「ラミアドルチェ店」の売上高含む。

なお、「ラミアドルチェ店」にしましては、2006年12月1日に「ビジュソフィア ファミリー」に業態転換しております。

(※2)「オプトジェム店」:「宝飾ブランド商品」+「メガネ」+「メガネ関連商品」+「時計」を取り扱う複合店。

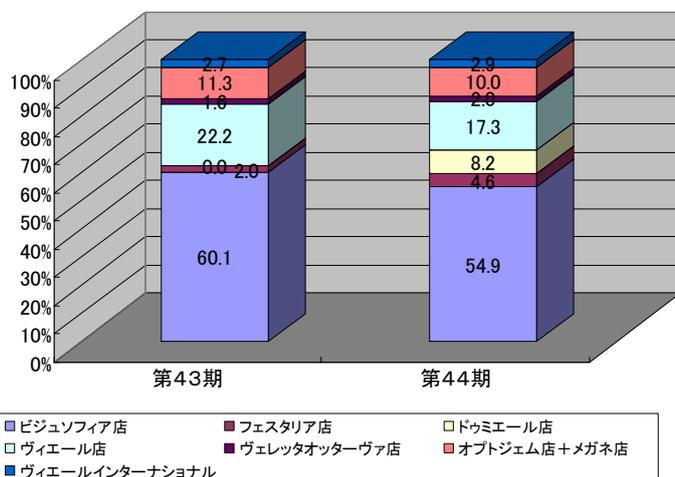
(※)第44期売上高合計にしましては、小売店舗売上高となっておりますので、決算短信等に表記されております売上高から卸売上高を除いたものとなっております。

# I. 決算概要

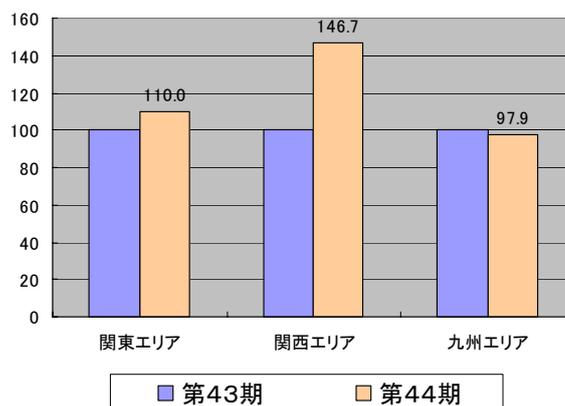
## 10. 業態別分析①

- ◇ヴィエール等の業績不振店をスクラップし、都市広域型出店戦略を推進。
- ◇百貨店およびSRSC(スーパーリージョナルショッピングセンター)等への出店。

売上高構成比



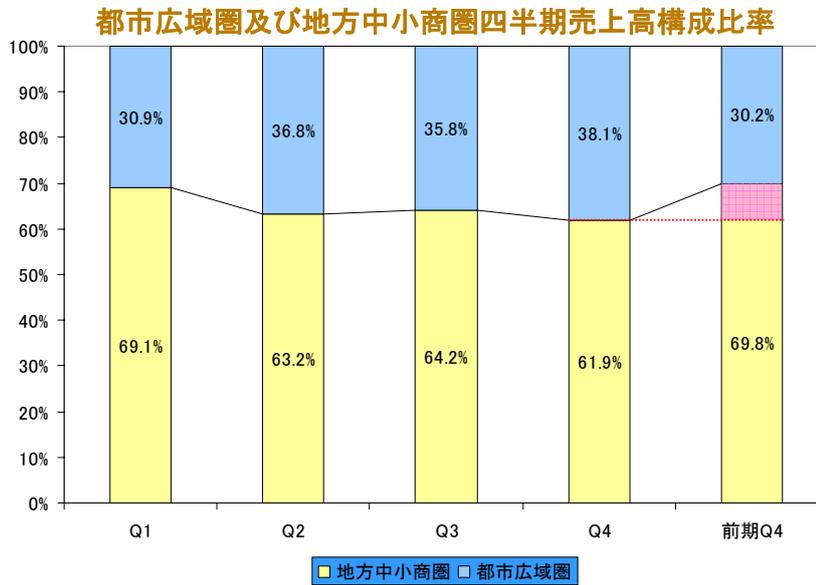
1店舗当り売上昨年対比



# I. 決算概要

## 10. 業態別分析②

◇都市広域圏に戦略的に展開し、都市郊外立地店舗を業態転換したことにより、第4四半期において売上高構成比率で前年同四半期において、都市広域圏の占有率が7.9%増となりました。

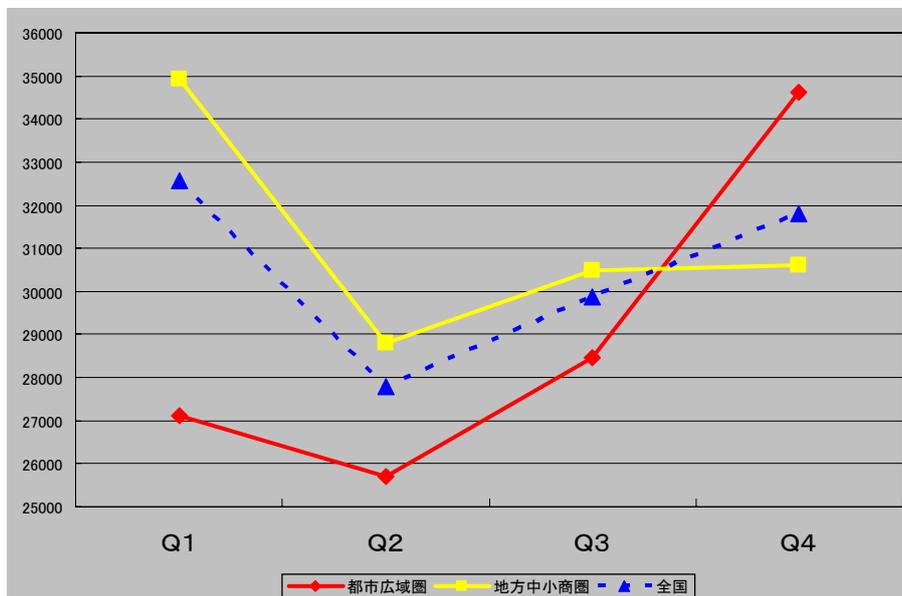


15

# I. 決算概要

## 11. 都市広域圏及び地方中小商圈 四半期客単価比較

◇第1四半期においては地方中小商圈が都市広域圏を上回っておりましたが、第4四半期では逆に都市広域圏が地方中小商圈を上回る結果となりました。

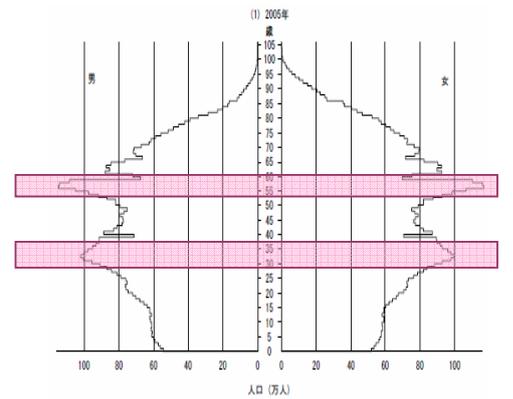
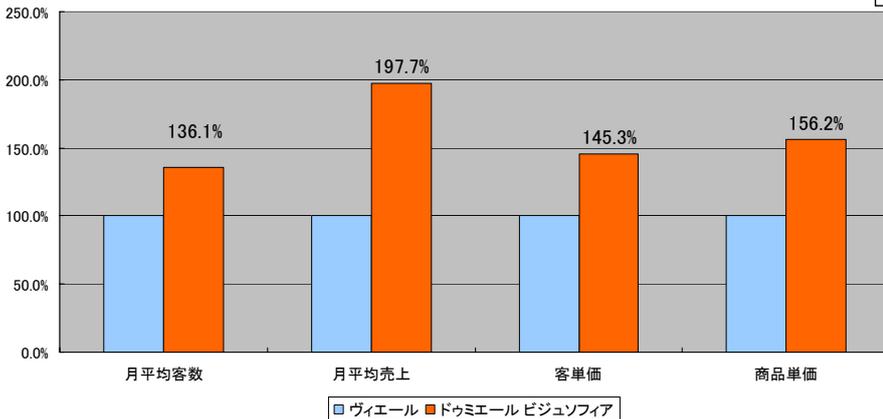
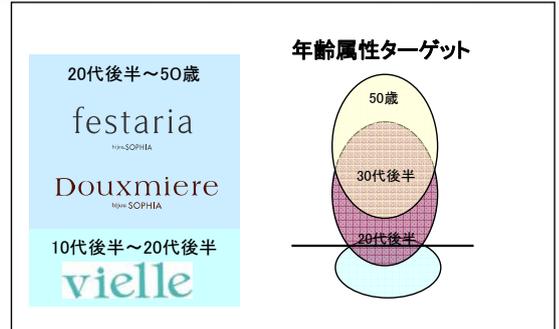


16

# I. 決算概要

## 12. 業態転換による効果

◇都市郊外立地店舗であるグランデュオ立川店を2007年6月末ヴィエール業態からドゥミエール ビジュソフィア業態に転換いたしました結果、平均客数・平均売上等の大幅な改善が見られました。



※ヴィエール店は2006年9月から2007年6月の月平均であり、ドゥミエール ビジュソフィア店は2007年7月から2007年8月の月平均でございます。

# I. 決算概要

## festaria

bijou SOPHIA

## Douxmiere

bijou SOPHIA



### 主要出店先

- 表参道ヒルズ店
- 有楽町西武店
- 日本橋三越本店
- 名古屋松坂屋本店
- 銀座三越店
- 福岡三越店

### 主要出店先

- SRSC型
- ららぽーと横浜店
- 流山おおたかの森店
- 三越武蔵村山店
- 浦和パルコ店
- 都市サブタイプ
- 東急東横店
- 東急吉祥寺店
- 東急たまプラーザ店
- 新潟三越店
- 松山三越店

※2007年10月20日時点での出店先となります。

## I. 決算概要

ドゥミエール ビジュソフィア  
ららぽーと横浜店



ドゥミエール ビジュソフィア  
静岡パルコ店

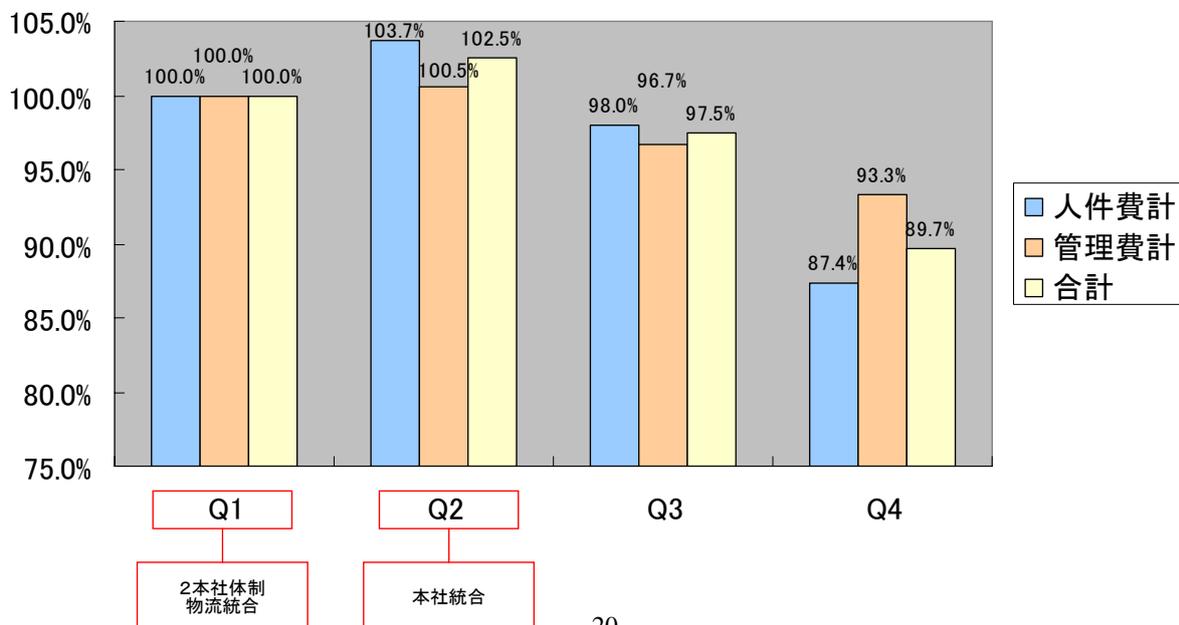


- ◇さらなるブランド力向上のため、都市広域圏チャネルとして「フェスタリア ビジュソフィア業態」の主要百貨店への出店を完了。
- ◇出店先の多角化に対応するため、新規ブランド「ドゥミエール ビジュソフィア」に都市サバード型(東急吉祥寺店、東急たまプラーザ店等)および郊外広域型(ららぽーと横浜店、流山おおたかの森店等)を構築。
- ◇業績不振店である郊外立地ヴィエール店舗の業態転換(1店舗)とスクラップ(6店舗)を実施。

## II. 第44期施策の結果と課題

### 1. ローコスト・オペレーションの実現(本社統合・物流統合)

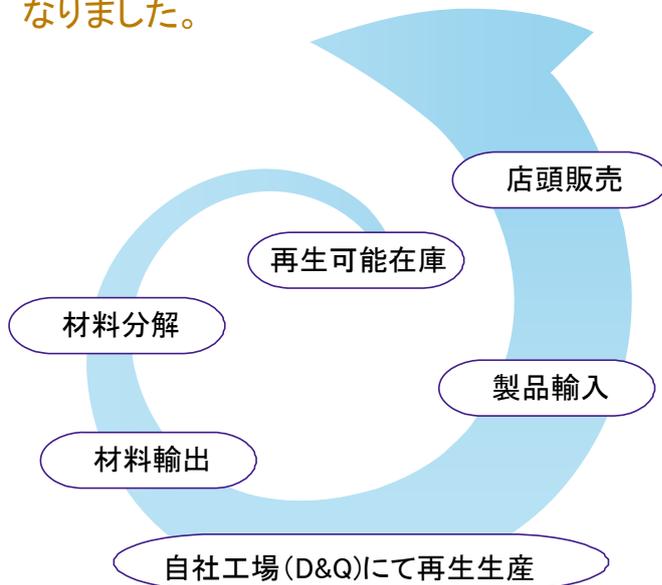
◇本社統合ならびに物流統合を開始した第1・第2四半期に比べ、第4四半期において本社管理コストが人件費22.6%カット、管理費6.7%カット、合計で10.3%カット(月額8,600千円)いたしました。しかしながら、当初削減予定(月額10,000千円)には届いておらず、オペレーションコスト等に課題を残しました。引き続き、第45期も継続して本社管理コスト削減に努めます。



## Ⅱ. 第44期施策の結果と課題

### 2. 在庫の評価減及び自社工場(D&Q)で材料としての再生強化

◇第44期は材料価格の高騰等に対応するため、自社内サイクル強化を目指し、自社工場であるD&Qにて再生生産を開始し、クリスマス商戦にて販売可能となりました。

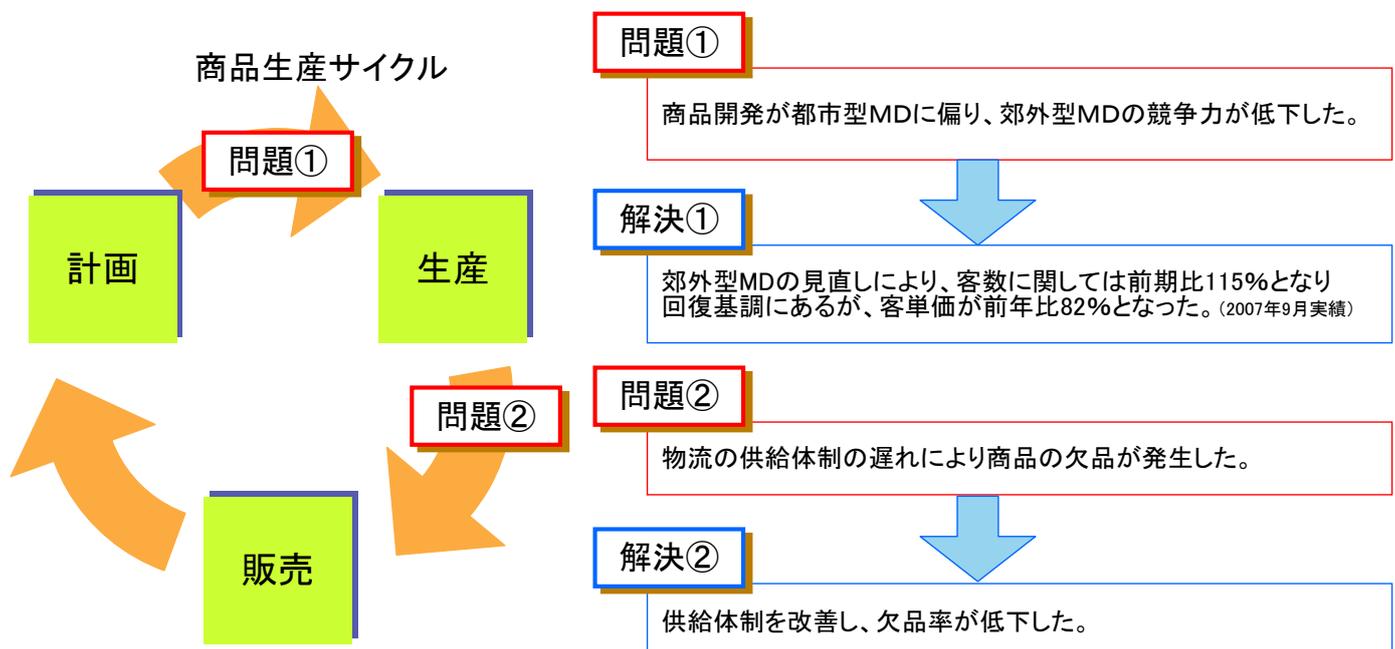


在庫構成比率

	第43期 構成比	第44期 構成比	増 減
第39期以前仕入	9.0%	1.9%	-7.1%
第40期仕入	7.3%	5.4%	-1.9%
第41期仕入	14.2%	9.3%	-4.9%
第42期仕入	20.1%	14.2%	-5.9%
第43期仕入	49.4%	24.7%	-24.7%
第44期仕入	---	44.5%	---
合 計	100.0%	100.0%	

## Ⅱ. 第44期施策の結果と課題

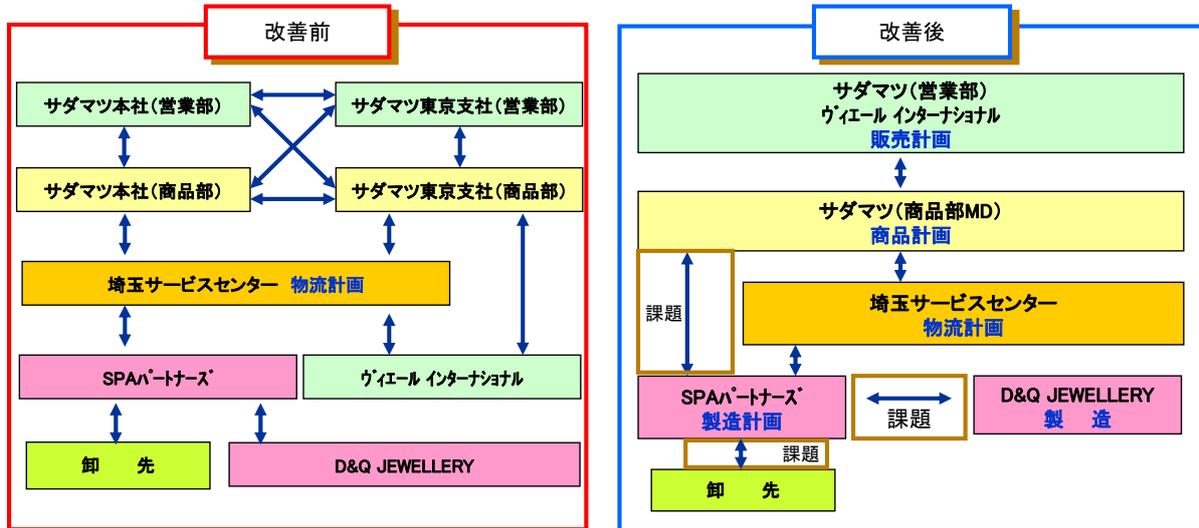
### 3. プロダクト・アウトとマーケット・インの一体化



## Ⅱ. 第44期施策の結果と課題

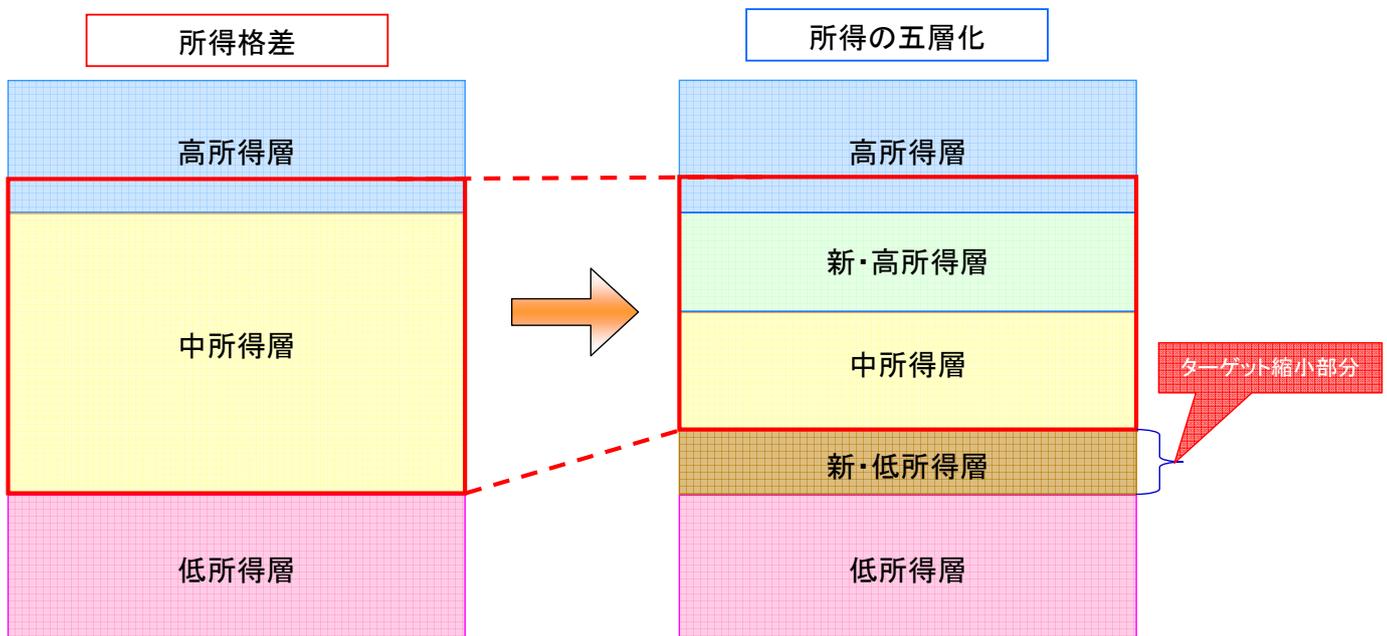
### 4. 5つの拠点の一体化 (新本社、物流センター、SPAパートナーズ、ヴィエルインターナショナル、D&Q JEWELLY) SCM (サプライチェーンマネジメント) の実現

◇物流統合ならびに本社統合を実施することにより、グループの一体化を目指してまいりました。しかしながら、製造管理を担うSPAパートナーズと製造を担うD&Qとの一体化に課題を残す結果となりました。



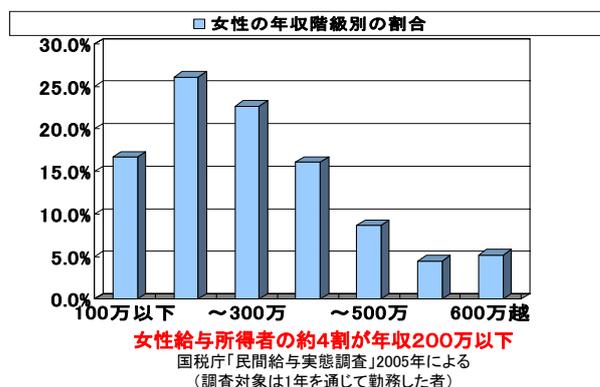
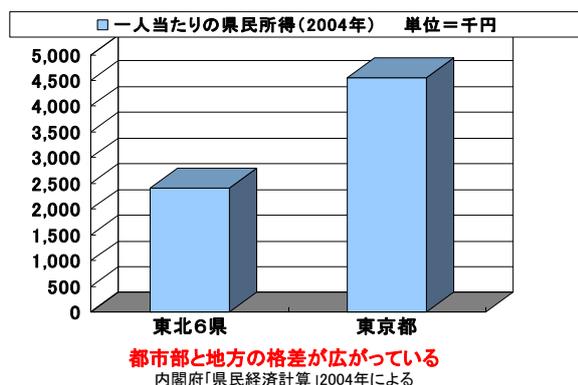
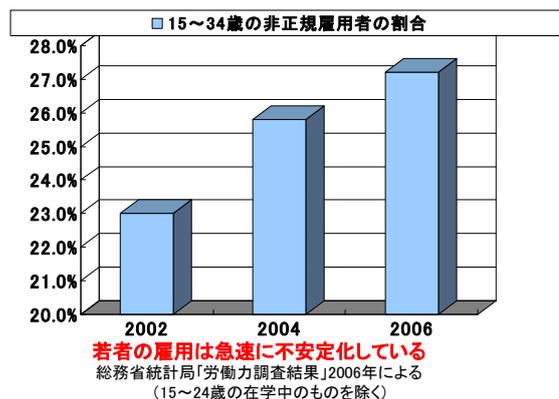
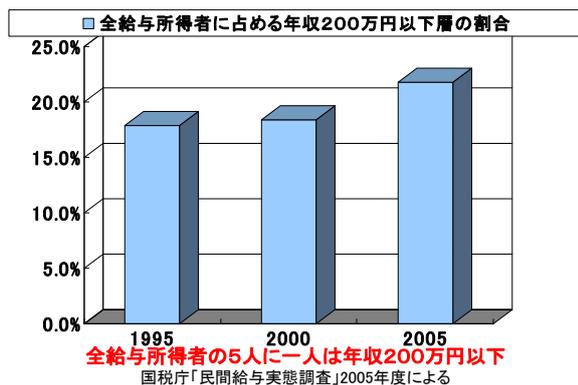
## Ⅲ. 外部環境分析の視点

### 1. 所得格差の変化による個客ターゲットの縮小



### Ⅲ. 外部環境分析の視点

#### 2. 所得格差の状況



25

### Ⅲ. 外部環境分析の視点

#### 3. 出店先SC及び出店地域の状況

立地別・構成別 売上高伸長率 2007年8月

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント	
総合	570	0.5	0.6	0.4	
中心地域	大都市	80	1.9	2	-1.1
	中都市	90	-0.3	-1	1.1
	小都市	34	-2.8	-2.7	-3
	小計	204	0.6	0.7	0
周辺地域	137	2.2	1.7	3	
郊外地域	229	-0.2	-0.2	-0.3	

(注)【都市規模】  
大都市：政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)  
中都市：上記都市を除く人口15万人以上の都市  
小都市：人口15万人未満の都市

立地【市・町・村の行政区画単位で区分 ※地域の説明内容は暫定】  
中心(商業)地域：当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地  
周辺(商業)地域：中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域  
郊外地域：都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

立地別・地域別 売上高伸長率 2007年8月

立地(SC数) / 地域	全国	関東	近畿	九州・沖縄	
総合	570	0.5	2.3	-0.9	-0.2
中心地域	204	0.6	1.7	-1.1	-0.4
周辺地域	137	2.2	5.5	-1.9	-1.4
郊外地域	229	-0.2	0.8	-0.2	1
(SC数)	570	201	129	49	

(注)【地域】  
関東：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県  
近畿：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県  
九州・沖縄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

## IV. 子会社の状況①

### ヴィエール インターナショナル

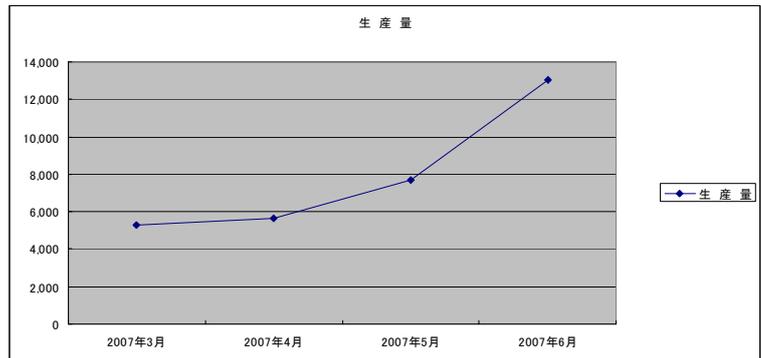
◇「vielle 衣蝶IDEE百貨台北店」が、百貨店側が民事再生法適用のため、貸倒引当金として6,667千円を計上いたしました。

◇台湾におけるクレジット当座貸付問題が社会問題化した影響により、売上高が未達となりました。

➡ 次年度以降の業績回復の可能性を勘案し、急速な純資産の回復は難しいと見込まれることから、子会社株式評価損を16百万円を計上いたしました。

### D&Q JEWELLERY

◇サプライマネジメントが当初うまく稼働せず赤字化いたしましたが、第4四半期(2007年4月から2007年6月)から稼働率が上がり、単月で黒字化いたしました。



27

## IV. 子会社の状況②

### SPAパートナーズ

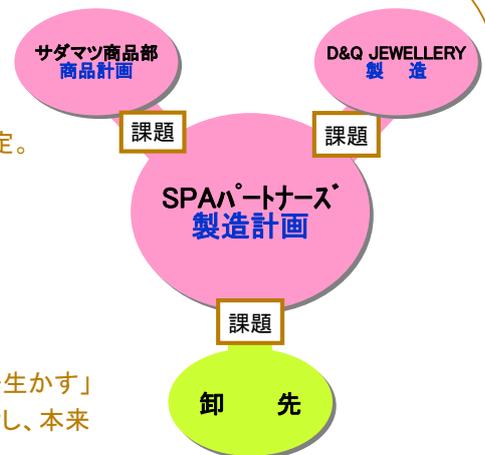
1. 主力商品である「エバーシャイン・シルバー」合金の精製方法確立が遅れ、生産供給体制に遅れが生じた。  
また現時点では、大量の合金の精製を一度に行うことは技術的に日本国内でしか出来ないが、将来的にはD&Qでの精製へ切り替える予定。

2. 卸売上の未達

- ・外部卸先を地方小売店から大手通販業者、百貨店等へ切り替えを進める
- ・サダマツ内部商品の生産を増加し、社外への卸を強化する

3. ターミナル機能不全

本来の「社内・社外それぞれの商品材料発注を集約し、スケールメリットを生かす」システムが、当初の予定通り機能できていなかった。問題点を整理・再検討し、本来の機能を再構築する。

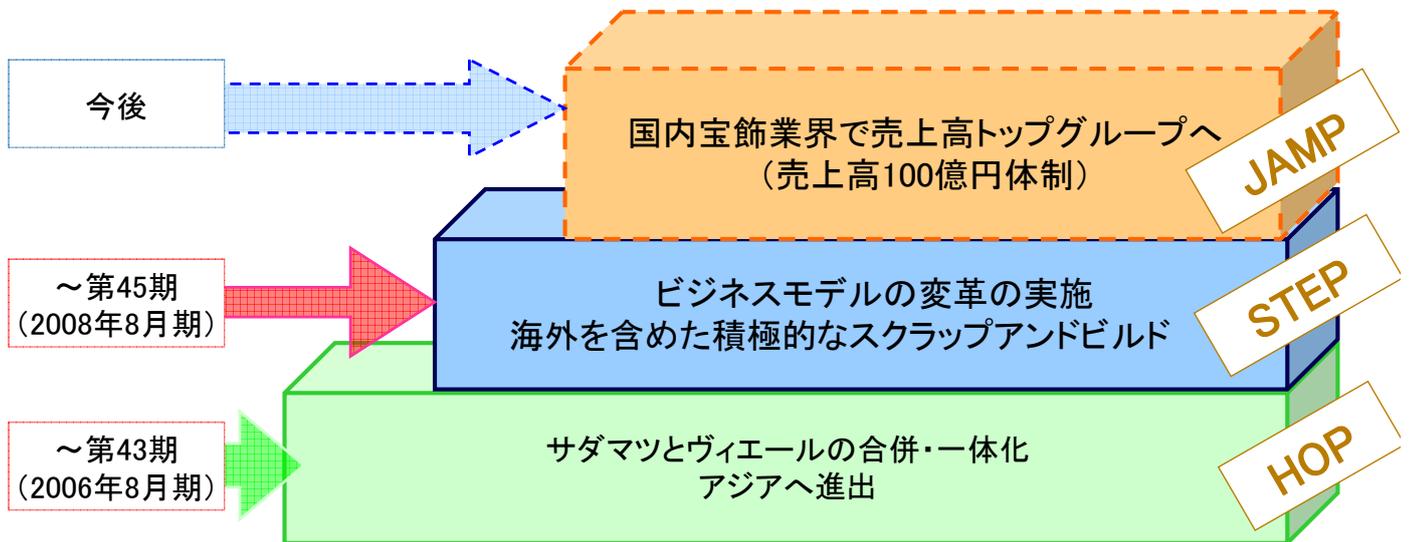


➡ サダマツ本体の商品部が全体を掌握し、「商品計画・販売計画・物流計画・製造計画」を一貫通貫で管理する。

28

## V. 中長期の目標

# 売上高100億円体制へ



29

## VI. 第45期施策

◇本社管理費のさらなる削減及び最適化

◇商品化計画の一体化(「販売計画」⇔「商品計画」⇔「製造計画」⇔「物流計画」)

◇外部環境への対応力強化

- － 地方中小商圈店舗の売上高を下げ止め
- － 都市広域型店舗の売上高をさらに伸ばす

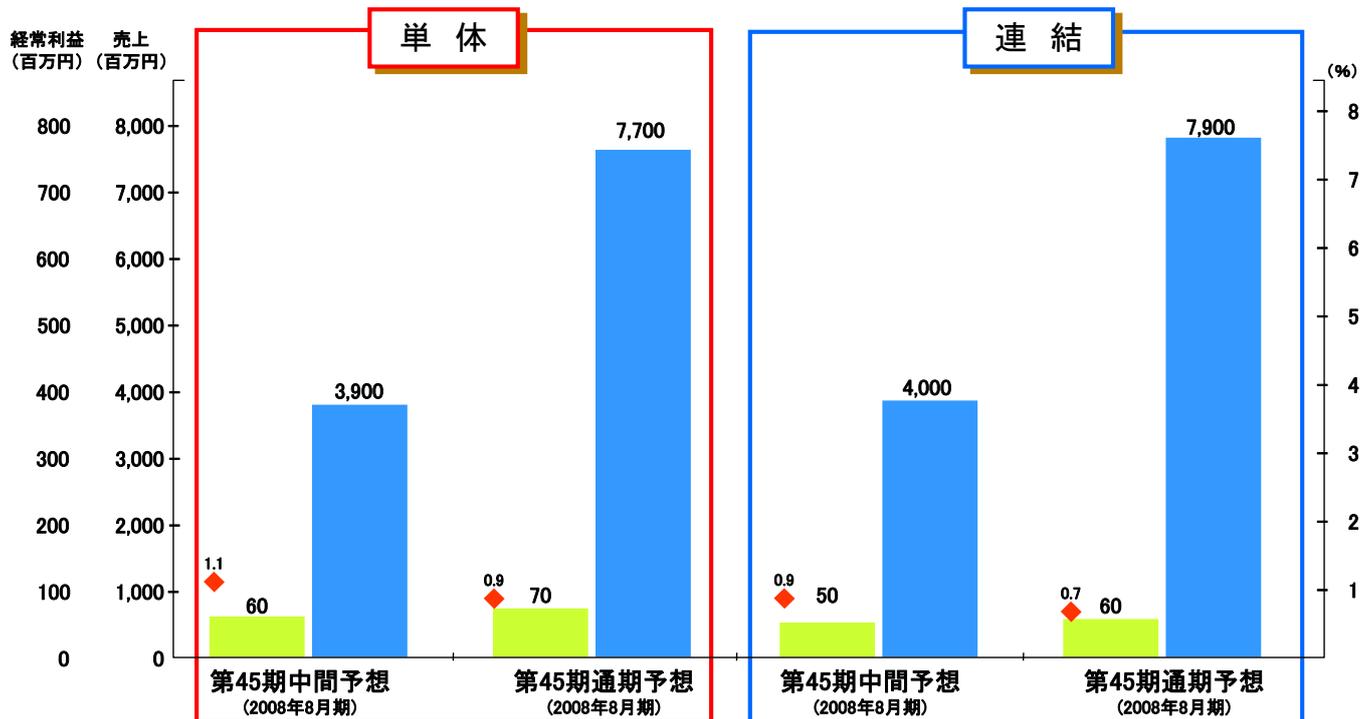
◇グループ間の連携強化と再構築

◇組織力と内部統制の強化

30

## Ⅶ. 第45期予測

(売上高) ■ (経常利益) ■ (売上高経常利益率) ◆



31

## IR窓口

festaria  
bijou SOPHIA



Douxmiere  
bijou SOPHIA



bijou  
SOPHIA



vielle



Veretta 8va



MORELLATO  
Italy



Team  
ADAMATSU

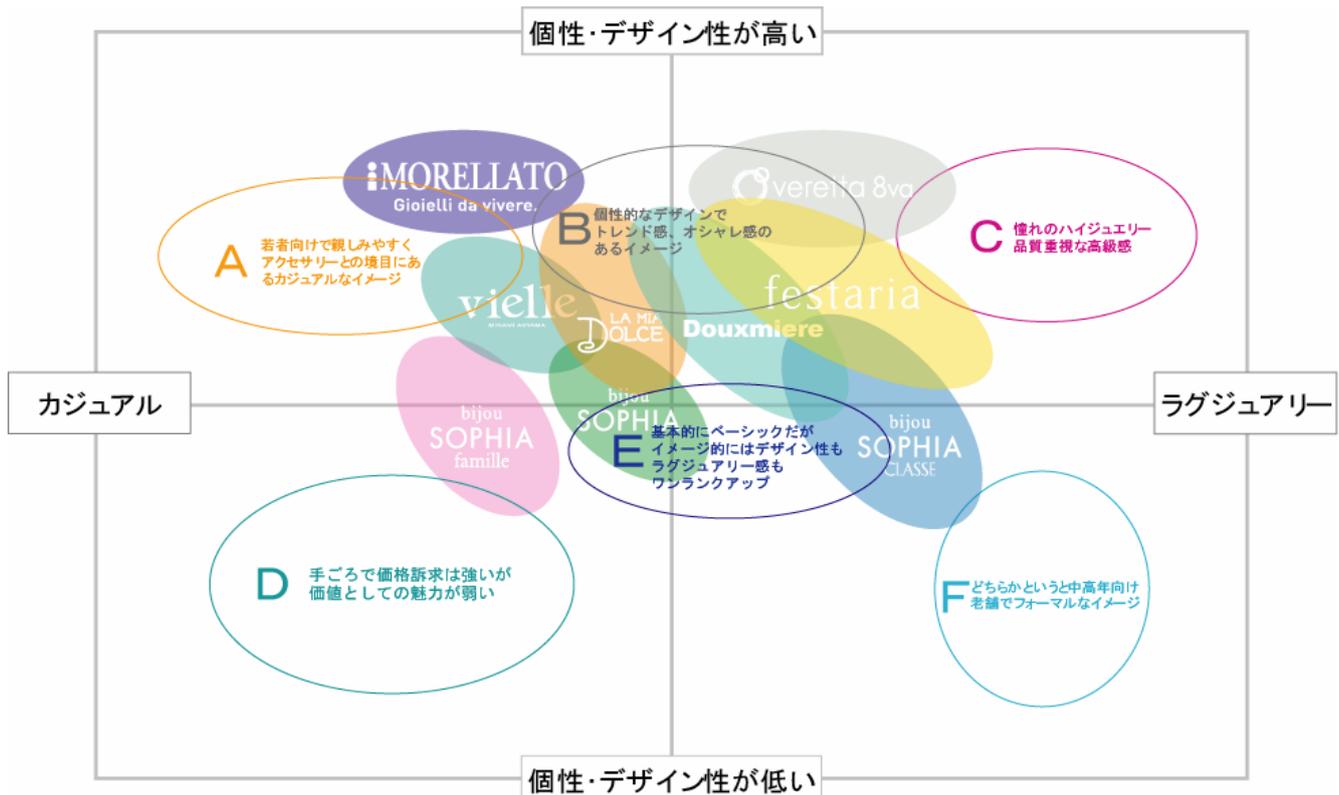
本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、  
下記までお願いいたします。  
株式会社サダマツ IR室

E-mail: sadamatsu.co@b-sophia.co.jp  
IRサイト: http://www.b-sophia.co.jp/IR/

# 会社概要

- 会社名: 株式会社サダマツ  
(英文社名:SADAMATSU Company Limited.)
- 本社: 東京都目黒区中目黒2-6-20 2F  
(登記上の本社 長崎県大村市本町458番地9)
- 拠点: 九州地区統括事務所:福岡県福岡市中央区警固2-16-11  
埼玉サービスセンター:埼玉県戸田市美女木4-4-4
- 代表者: 代表取締役社長 貞松隆弥
- 設立: 1964年3月
- 決算期: 8月
- 資本金: 742百万円(2007年8月31日現在)
- 従業員数: 連結:530人(2007年8月31日現在)
- 店舗数: 連結 89店舗/単体 81店舗(2007年8月31日現在)  
(国内: 81店舗 海外: 8店舗)
- 社是: 『お店はお客様の為にあり、社員、株主と共に栄える。』
- 社訓: 「私達は仕事を通じて、お客様の暮らしのお役に立ちます。」  
「私達は仕事を通じて、幸福集団を築きます。」  
「私達は仕事を通じて、地域社会に貢献します。」
- スローガン: 「お客様という名の大切なお友達をつくろう。」

# コアチャネルポジション



# 店舗分布

**東北信越 2店舗**  
新潟 ドラミエールビジュソフィア 新潟三越店  
福島 ビジュソフィア 郡山分譲百貨店

**関東エリア 32店舗**  
東京 ヴィエール マルイシティ渋谷店  
東京 ヴィエール マルイシティ池袋店  
東京 ヴィエール マルイシティ能登店  
東京 ヴィエール マルイシティ上野店  
東京 ヴィエール 北千住マルイ店  
東京 ヴィエール マルフファミリー一分寺店  
東京 ヴィエール 松坂屋銀座店  
東京 ヴィエール 小田急百貨店新宿店  
東京 ウェレックオッターバ 東比叡三越店  
東京 ウェレックオッターバ 銀座松屋店  
東京 ウェレックオッターバ 新宿伊勢丹店  
東京 ドラミエール ビジュソフィア クラッセ立川店  
東京 ドラミエール ビジュソフィア 武蔵野三越店  
東京 ドラミエール ビジュソフィア 吉祥寺車庫店  
東京 ドラミエール ビジュソフィア 東急東横店  
東京 ドラミエール ビジュソフィア 東武百貨店池袋店  
東京 フェスタリア ビジュソフィア 丸の内三越店  
東京 フェスタリア ビジュソフィア 有楽町西武店  
東京 フェスタリア ビジュソフィア 日本橋三越店  
神奈川 ヴィエール マルフファミリー溝口店  
神奈川 ヴィエール マルフファミリー海老名店  
神奈川 ヴィエール 横浜ピレレ店  
神奈川 ドラミエール ビジュソフィア 東急上野原一丁目店  
神奈川 ドラミエール ビジュソフィア ちとほ一丁目店  
神奈川 ビジュソフィア マルイシティ横浜店  
千葉 ヴィエール マルイ柏店  
千葉 ドラミエール ビジュソフィア 流山おおたかの森店  
千葉 ビジュソフィア ファミニー アリア豊秋店  
埼玉 ヴィエール マルフファミリー志木店  
埼玉 ヴィエール マルイ大宮店  
埼玉 ヴィエール マルイ東加店  
茨城 ヴィエール マルイ水戸店

**関西・東海 エリア9店舗**  
大阪 ヴィエール なんばマルイ店  
大阪 ウェレックオッターバ 阪急うめだ店  
大阪 ビジュソフィア ファミニー 阪急三番街店  
兵庫 ヴィエール 神戸マルイ店  
兵庫 ビジュソフィア ファミニー くらぼろ七甲子園店  
兵庫 ビジュソフィア ファミニー イオンモール神戸北店  
愛知 フェスタリア ビジュソフィア 松坂屋名古屋本店  
静岡 ヴィエール マルイ静岡店  
静岡 ドラミエール ビジュソフィア 静岡バルコ店

**九州エリア 36店舗**  
福岡 ドラミエール ビジュソフィア 三越松山店

**四国 1店舗**  
長崎 ドラミエール ビジュソフィア 三越松山店

**台湾エリア 8店舗**  
台北 太平洋SOGO百貨台北忠孝店  
台北 新光三越百貨信義A8店  
台北 太平洋SOGO百貨中環中央店  
台北 衣蝶IDEE百貨台北店  
台北 新光三越百貨信義A4店  
台北 太平洋SOGO百貨中環元化店  
台北 高雄漢神百貨店  
台北 太平洋SOGO台北復興店

**沖縄 1店舗**  
沖縄 ビジュソフィア ファミニー ジャスコ那覇店

福岡 ドラミエールビジュソフィア 井筒屋小倉店	長崎	ビジュソフィア クラッセ 長崎浜町店
福岡 ビジュソフィア クラッセ 天神本店	長崎	ビジュソフィア ファミニー 夢野館店
福岡 ビジュソフィア ファミニー イオン八幡東店	長崎	ビジュソフィア ファミニー ジャスコ長崎店
福岡 ビジュソフィア ファミニー イオンモール直方店	長崎	ビジュソフィア ファミニー ジャスコシティ大塚店
福岡 ビジュソフィア ファミニー マリナタウン店	長崎	宝石・メガネ 時計取扱店 大村店
福岡 ビジュソフィア ファミニー ゆめタウン築紫野店	長崎	宝石・メガネ 時計取扱店 ジャスコ有明店
福岡 ビジュソフィア ファミニー ザ・モール春日店	長崎	宝石・メガネ 時計取扱店 藤早店
福岡 ビジュソフィア ファミニー ゆめタウン行橋店	長崎	宝石・メガネ 時計取扱店 ジャスコ大村店
福岡 ビジュソフィア ファミニー ゆめタウン大牟田店	長崎	メガネ店 長崎店
福岡 ビジュソフィア ファミニー イオン若松店	長崎	メガネ店 ジャスコ東長崎店
福岡 ビジュソフィア ファミニー ゆめタウン久喜栄店	長崎	メガネ店 西友道の尾店
福岡 ビジュソフィア ファミニー イオン香椎店	佐賀	ビジュソフィア ファミニー イオン松葉大和店
福岡 ビジュソフィア ファミニー イオン大塚南口店	佐賀	ビジュソフィア ファミニー モーラージュ佐賀店
福岡 フェスタリア ビジュソフィア 福岡三越店	佐賀	宝石・メガネ 時計取扱店 ジャスコ江北店
大分 ビジュソフィア 大分バルコ店	熊本	ビジュソフィア ファミニー ゆめタウン光の森店
大分 ビジュソフィア ファミニー ハーカレハ太分店	熊本	ビジュソフィア ファミニー イオン八代店
宮崎 ビジュソフィア ファミニー イオン都城店	熊本	ビジュソフィア ファミニー イオン熊本丸の内店
宮崎 ビジュソフィア ファミニー イオンモール宮崎店	鹿児島	ビジュソフィア アミューザ鹿児島店

## ■店舗一覧 (89店舗) 2007年8月31日現在

# 貸借対照表(連結)

(単位: 百万円、%)

		第43期 (2006年8月期)		第44期 (2007年8月期)	
			構成比		構成比
資産の部	I 流動資産	4,107	72.2	5,372	78.7
	現預金	533	9.4	1,576	23.1
	売掛金	591	10.4	680	10.0
	たな卸資産等	2,982	52.4	3,116	45.6
	II 固定資産	1,580	27.7	1,448	21.2
III 繰延資産	4	0.1	4	0.1	
	資産合計	5,692	100.0	6,825	100.0
負債の部	I 流動負債	2,685	47.2	3,869	56.7
	II 固定負債	1,153	20.3	1,700	24.9
	負債合計	3,839	67.5	5,570	81.6
純資産の部	I 株主資本	1,851	32.5	1,259	18.5
	資本金	742	13.1	742	10.9
	資本剰余金	706	12.4	706	10.4
	利益剰余金	402	7.0	△ 189	△ 2.8
	II 評価・換算差額等	△ 1	0.0	△ 3	0.0
III 少数株主持分	2	0.0	-	-	
	純資産合計	1,852	32.5	1,255	18.4
	負債純資産合計	5,692	100.0	6,825	100.0

## 販管費内訳一覽(連結)

(単位:百万円, %)

	第43期	構成比	第44期	構成比	前年同期比
	(2006年8月期)		(2007年8月期)		
販売費及び一般管理費	4,414	100.0	4,880	100.0	110.5%
給料	1,288	29.2	1,383	28.4	107.3%
雑給・派遣社員費	232	5.3	197	4.0	84.9%
一般広告宣伝費	229	5.2	256	5.3	111.7%
販売促進費	208	4.7	229	4.7	110.0%
旅費交通費	93	2.1	42	2.3	45.1%
賃借料	208	4.7	239	4.9	114.9%
家賃	1,158	26.3	1,319	27.0	113.9%
減価償却費	38	0.8	48	1.0	126.3%

## キャッシュフロー(連結)

(単位:百万円)

区分(主な項目)	決算期	第43期	第44期
		(2006年8月期)	(2007年8月期)
営業活動によるキャッシュフロー		△662	△162
税金等調整前中間純利益		37	△426
減価償却費		38	48
たな卸資産の増加額		△449	△183
法人税等の支払額		△60	△20
投資活動によるキャッシュフロー		△148	△136
有形固定資産の取得による支出		△87	△80
差入保証金の差入による支出		△54	△104
財務活動によるキャッシュフロー		623	1,313
短期借入金による収入		697	550
長期借入金による収入		104	724
現金及び現金同等物の増減額		△187	1,013
現金及び現金同等物の期首残高		720	533
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高		-	29
現金及び現金同等物の期末残高		533	1,576

# 財務比率総括(連結)

(単位:千円)

損益計算書関連項目	第44期 (2007年8月期)	貸借対照表関連項目	第44期 (2007年8月期)
売上高	8,018,899	負債純資産合計	6,825,910
売上総利益	4,714,417	資産合計	6,825,910
販売費及び一般管理費	4,880,408	流動資産合計	5,372,954
営業損失	165,992	うち現金預金	1,576,422
営業外収益	11,513	うち売掛金	680,798
うち受取利息・割引料	3,634	うちたな卸資産等	3,115,733
営業外費用	60,678	固定資産計	1,448,353
うち支払利息・社債利息	48,384	うち有形固定資産	293,072
経常損失	215,157	うち無形固定資産	16,314
当期純損失	546,187	うち投資その他資産	1,138,967
減価償却費	48,888	繰延資産合計	4,601
キャッシュフロー	1,576,997	負債合計	5,570,161
直営店舗数(店)	89	流動負債計	3,869,164
従業員数(人)	530	うち買掛金及び支払手形	826,130
売上高総利益率(%)	58.8	うち有利子負債	2,370,679
同営業利益率(%)	△ 2.1	固定負債計	1,700,997
同経常利益率(%)	△ 2.7	うち有利子負債	1,546,690
同当期純利益率(%)	6.8	純資産合計	1,255,048
総資本経常利益率(%)	△ 3.4	うち資本金	742,240
同営業利益率(%)	△ 2.7	うち資本剰余金	706,642
同当期純利益率(ROA)(%)	△ 8.7	うち利益剰余金	△189,196
自己資本経常利益率(%)	△ 13.8	うち自己株式	183
同営業利益率(%)	10.7	その他有価証券評価差額金	1,465
同当期純利益率(ROE)(%)	35.2	為替換算調整勘定	2,319
総資本回転率(回/年)	1.2	少数株主持分	-
棚卸商品回転率(回/年)	0.86	自己資本比率(%)	18.4
交差比率(%)	163.4	流動比率(%)	138.9
		手元流動性	1.0
		手元流動性比率(倍)	1.5